

令和元年12月

60

なんぶ 社会福祉だより

南部町社会福祉協議会

本 所 〒683-0351 法勝寺331-1 TEL 0859-66-2900
会見支所 〒683-0227 浅井938 TEL 0859-64-3515



♪オープニング♪
NHKのど自慢チャンピオン
福留大樹さん



600名余りの
方にご来場い
ただきました。

ボランティアフェスティバル

広げよう地域の絆 つなげよう心とこころ



10月27日（日）、農業者トレーニングセンターで「南部町ボランティアフェスティバル」を開催しました。

当日は多くのボランティアの方に関わっていただき、また、町内の多くの企業、団体の皆様にご協賛いただき盛大に開催することができました。心よりお礼申し上げます。

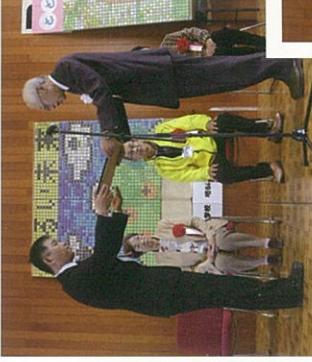
5・6級ヘルパー認定式



夏休みボランティア体験に参加された中から今年は下記の皆さんが各ヘルパーに認定されました。
所定の活動日数（小学生2日、中学生3日）を初めて体験された児童・生徒さんには、南部町独自のヘルパー認定証が授与されます。認定式当日は、5級ヘルパー認定証は副町長より中学生に、6級ヘルパー認定証は社会福祉協議会会长より小学生に授与されました。その後は、各ブースに分かれてお手伝いをして頂きました。

5級ヘルパーの皆さん36名

法勝寺中学校		会見小学校		西伯小学校	
1年	荒木 紗耶 福田 祐奈 中島 拓音 内間 瑛大 西田 粋希 瀧山 晴那 3年	猪原未咲希 藤友 咲羽 三好 弘起 田淵 美波 前田 粋希 野口 菜月 竹本 理恋 加納 陸	角 明華 北尾 渉 幸来 杏南 野坂 幸来 松田 杏南 中島 凜 佐藤 花音	西田 渚紗 須山 和憂 内間 琉太 潮 潤 内間 匠晟 松田 美波 中島 真由子 松原 瑞子	影山 大雅 吉持 大成 杉原 流成 岩田 康佑 亀山 一登 岡田真由子 田村 成
2年	黒田 真央 小林 月紫 3年	安田 隼大 瀬田 薫奈 加藤 陽人 大田桜乙愛	渡辺 琉煌 上代 瑞穂		



令和元年度 南部町社会福祉協議会会長表彰

は、令和元年度の南部町社会福祉協議会会長表彰
十月二十七日の「南部町ボランティアフェス
ティバル」において、表彰状の授与と記念品の
贈呈を行いました。

永年に亘る社会福祉・ボランティア活動等、
地域の福祉活動にご尽力いただきましたこと、
心より感謝申し上げます。



▲出席いただいた受賞者のみなさま

◇ボランティア・福祉活動労者（個人）◇ (敬称省略)

所 属	所属役職名	氏 名
社会福祉法人伯耆の国	足井 壮志	齋鹿 伸二
社会福祉法人伯耆の国	永田美知子	遠藤 優彦
社会福祉法人伯耆の国	藤下 琴美	賴田規和美
社会福祉法人伯耆の国	上村 美枝	林原 光男
会見配達ボランティア		雜賀 藤重

◇社会福祉施設・団体職員労者◇ (敬称省略)





町内の学生ボランティア
も大活躍でした。
ありがとうございました。

西伯病院さんの健康相談
に立ちたくさんの相談者が
来てあられました。



最後の抽選会も盛り上がりました！

たくさんのお協賛品をありがとうございました！

鳥取西部ジエイエイサービス
山陰管財
AO-Tカーサービス
前田石油店
JA西伯支所

さいはく山菜加工組合
南部町赤十字奉仕団
清水川農事生産組合
山陰合同銀行西伯出張所
戸田商店
丸谷

はしもと電器
南さいはく地域振興協議会
西伯病院
(順不同・敬称省略)



子ども服リユース譲渡会は大盛り
上がりでした



いきいきサロモンなどの活動紹介、作品展示、夏
休みボランティア体験の展示も賑わいました。

つなげよう心とこころ アースデイバハ



今年のショータイムは「ベル
シユシユ」さんと「APON」
さんにお世話になりました。
2グループとも大変な盛り上が
りでした。



遊びコーナーは子どもに大人気！！



ものづくりコーナーではバルーンア
ートが人気でした。



今年も多くの皆さんに出店して頂き、盛り上
げていただきました。



赤い羽根共同募金

生活困窮者自立支援事業

平成27年4月から生活困窮者自立支援制度が開始され、南部町より委託を受けた社会福祉協議会が「生活サポートセンターなんぶ」として相談窓口を開設して4年8ヵ月が経過しました。制度開始から令和元年12月現在までに157件の相談を受け、自立に向けた支援活動を行っています。具体的な支援の例をご紹介します。

- 離職や解雇となつた方へのハローワークと連携した就労支援例
47歳（当時）男性。人間関係の悪化で前職場を退職。失業保険を受給しながら求職活動をされました。再就職が決まりず失業保険の給付も終了となつてしましました。そのため、当サポートセンターに自ら来所され相談されて支援が開始となりました。相談者へ早期の再就職支援を行う必要があつたため、ハローワークとの連携事業である「生活保護受給者等就労促進事業」の利用を勧めたりところ、同意をされ利用となりました。その後、就労相談、企業への見学にも当サポートセンターが同行し、面接の結果、1ヵ月以内で再就職が決まり、2年以上が経過した現在も就労を継続されています。生活保護受給者等就労促進事業は生活保護受給者と生活困窮者が利用できる制度となっています。以下のようなメリットがあります。
- ① 担当制となるため、毎回、同じ就労支援員と相談となるため、ご本人の意向や希望をよく分かってもらえます。
 - ② 相談は予約制となるため、ハローワークでの待ち時間がなくなります。
 - ③ 支援機関は6ヵ月と区切ってあり、ダラダラとした就職活動ではなく、早期就労を目指しています。

家計改善支援事業

家計改善支援事業は生活困窮者自立支援制度の任意事業として南部町より委託を受け、2年8ヵ月が経過しました。家計表等のツールを活用し、生活困窮者の属する世帯全体の家計収支等を評価・分析し、状況に応じた家計再生プランを作成するとともに、対象者の家計改善意欲を高めることに努めます。

具体的な支援の例をご紹介します。

- 多額の滞納・債務を抱え、支払い困難な世帯
家計改善支援事業の委託を受ける前より生活困窮者自立支援事業にて支援を行っていた世帯。ある程度の収入はあるが、滞納・債務は全く減ることがなく、増えしていく一方といふ状況でした。そのため家計改善支援事業にて支援することになりました。世帯の家計の見える化を行い、月単位または数年先の家計推移の見通し立て、普段の生活や家族のイベントなども考慮し、相談者とともに家計計画を作りました。その後、継続面談を通じたモニタリング、自立にむけてのアドバイスを約2年間行いました。
自立支援との連携により、収入が増加。ご家族の協力・理解や相談者自身の何とかしたいといふ強い意思により計画通り完済。相談者が自力で家計管理が出来るようになります。ただし、飲食代など助成対象外のものもありました。

このように劇的に家計改善された方がおられます。一人で悩まず、当サポートセンターにご相談下さい。



令和2年度 助成事業 募集中

受付期間：R112月9日(月)～R21月31日(金)

赤い羽根共同募金の仕組み

今年度の南部町の目標額 2,850,000円 》》》》
約30%が県内の事業へ
県内の福祉団体・福祉施設・災害等支援活動へ使われます。

約70%は南部町の事業へ
南部町内の地域福祉活動事業に助成されます。

共同募金助成金を集落の交流や福祉活動に活用しましょう！

例えば



- 花壇整備など集落を花いっぱいにしよう
- 手づくりやものづくりでつながろう
- 高齢者あんしん見守り体制づくり
- 昔の遊び体験や伝統行事伝承活動
- 子どもと高齢者の交流活動など

御内谷区 世代間交流事業
集落やその他の地域活動団体が、「福祉」を目的に実施するふれあいや交流活動など、人と人が継続的につながる事業であれば助成できます。ただし、飲食代など助成対象外のものもありますので、事務局にご相談下さい。



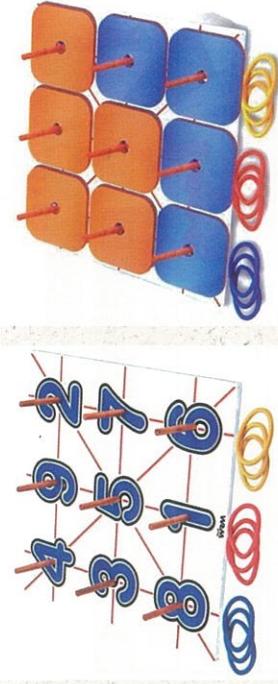
南部町共同募金委員会

レクリエーション用具の紹介

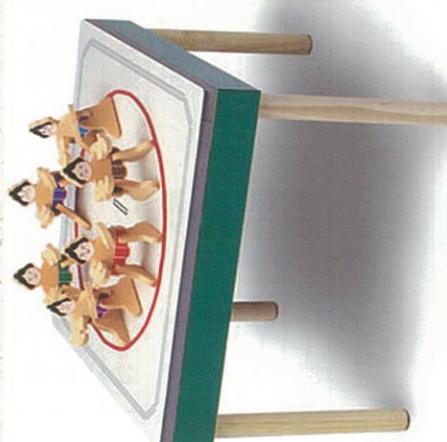
南部町社会福祉協議会では、みんなで楽しめるレクリエーション用具を多数ご用意しております。今回は座ったままでも楽しめる用品を中心にご紹介します。ここにご紹介している物はほんの一例です。貸し出しは無料です。使い方などのご相談などお気軽ににお問合せ下さいね。



陣取り輪投げ



輪投げもできるし、陣取りゲームもできます。
一度で二度楽しめます。ルールは簡単！
アレンジ次第でいろいろ楽しめます。



たいく相撲

ご存じトントン相撲です。関取のコマは自分で手足を組み立てで調整できます。お気に入りの関取を作つてハッケヨイ！



大型ジenga
抜き取ったブロックを積み上げます。崩した人が負けという至ってシンプルなゲームです。でも結構ハラハラドキドキするんですね。
サロンで盛り上がること間違いなしです。ブロックは軽いので崩れても安心です。



チームラビリンクス

ご覧のようにシートに迷路を組み立てて、みんなでゴールめがけて転がします。
共同作業ですのでチームワークと集中力が試されます。とにかくやってみてください
座つたままでも楽しめますよ

令和元年度 鳥取県社会福祉協議会 「災害時ににおける支え愛地域づくり推進事業」補助金制度

支え愛マップ 作成による 地域に暮らしている「要支援者^(※)」を支えるための、 災害発生時の避難支援の仕組みなど、住民同士でつくる取り組みを支援します。 ※例えば……一人暮らし、寝たきり及び認知症等の高齢者、障がいのある方など 研修等を通じた自治会間交流 災害発生時の避難支援の仕組みづくり 災害発生時の避難支援の仕組みづくり 支え愛マップとは 日常生活を送る上や災害発生時ににおいて、誰かの支援を必要とする地域住民の情報を、地図上にまとめていたもの。防災体制の確認だけでなく、日ごろからの気くばりや「支え愛」の必要性を住民同士で共有することができます。 **災害時要支援者対策促進事業** 補助限度額：1住民組織あたり7万5千円以内 (昨年度までに災害時要支援者対策促進事業の補助を受けていない住民組織が対象) **災害時要支援者対策ステップアップ事業** 補助限度額：1住民組織あたり10万円以内 (昨年度までに災害時要支援者対策促進事業の補助を受けた住民組織が対象) **災害時要支援者対策モデル事業** 補助限度額：1件あたり10万円以内 (昨年度までに災害時要支援者対策促進事業の補助を受けない住民組織が対象)

支え愛マップ

地図に暮らしている「要支援者^(※)」を支えるための、
災害発生時の避難支援の仕組みなど、住民同士でつくる取り組みを支援します。

※例えば……一人暮らし、寝たきり及び認知症等の高齢者、障がいのある方など

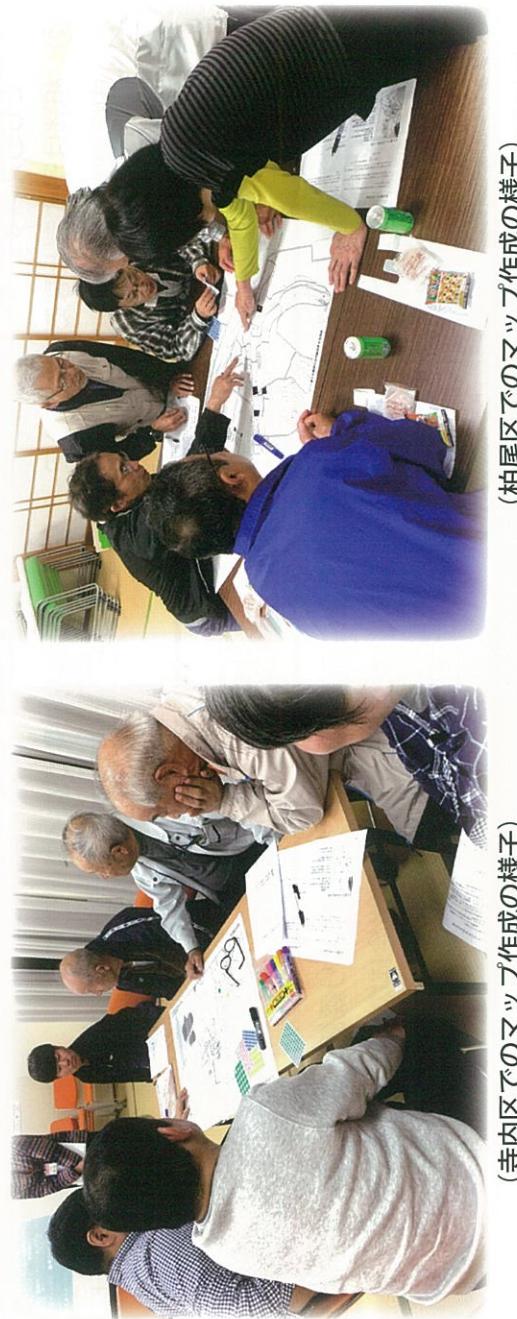
Aさん
○施設高齢者
○支援者Bさん
●車いす必要

日常生活を送る上や災害発生時ににおいて、誰かの支援を必要とする地域住民の情報を、地図上にまとめていたもの。防災体制の確認だけでなく、日ごろからの気くばりや「支え愛」の必要性を住民同士で共有することができます。

災害時要支援者対策促進事業
補助限度額：1住民組織あたり7万5千円以内
(昨年度までに災害時要支援者対策促進事業の補助を受けていない住民組織が対象)

災害時要支援者対策ステップアップ事業
補助限度額：1住民組織あたり10万円以内
(昨年度までに災害時要支援者対策促進事業の補助を受けた住民組織が対象)

災害時要支援者対策モデル事業
補助限度額：1件あたり10万円以内
(昨年度までに災害時要支援者対策促進事業の補助を受けない住民組織が対象)



(柏尾区でのマップ作成の様子)

こんな備品を購入することができます

- ・ヘルメット
- ・照明器具
- ・担架
- ・スコップ
- ・小型のホワイトボード
- ・小型テレビ
- ・座椅子、座布団
- ・毛布
- ・寝袋
- ・簡易テント

※その他避難行動、避難所運営を助ける器具が必要となるもの

こういったものは購入することができます

- ・補助事業の目的に沿っていないものの
- ・個人の持ち物となるもの
- ・施設に取り付けるなど設置工事を伴うもの
- ・規格や性能、数量が過大もしくは過小なもの

詳しい説明・ご相談は
南部町社会福祉協議会(TEL: 66-2900)まで

あいがとうをぎひました



(令和元年11月15日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・なんでも相談所開設経費・いきいきサロン活動助成金・地域振興協議会への助成金など、地域の福祉活動の財源として活用させていただいているいます。

香典返し

(敬称は省略させていただきました。)

寄付者名	集落名	故人名	金額
武田 将希	高姫	千之	金一封
赤井 憲一郎	朝金	祁朗	金一封
小谷 泰輝	宮前二	肇	金一封
小林 豊彦	田住	小谷 利江	金一封
亀谷 儀男	鍋倉	邦子	金一封
持田 茂美	掛相	溢子	金一封
橋門 宏実	法勝寺2区	茂喜	金一封
三好 伸樹	上阿賀	多美子	金一封
大塚 清人	清水川	正展	金一封
		岡田 君子	泰次郎
		鴨部	50,000

◎ご寄附金額等の記載につきましては、寄附者ご本人の意思によるものです。
◎ご寄附金額等の記載につきましては、寄附者ご本人の意思によるものであります。

編集後記

「論語と算盤」。行きつけの本屋に入つて少し変わったタイトルに目を引かれた。帯には新一万円札の顔に「渋沢栄一」とあつたが、本書の著者や内容よりどちらかといつと変わったタイトルに気を惹かれ衝動的に購入してしまつた。購入すべき本の目的を持たず本屋に行くくじょうくらいの衝動買いつがあるのだが・・・。

内容は、渋沢栄一が講演した内容の一部をまとめたもので彼の経営哲学が語られていた。既に2024年度の五年後には新一万円札の肖像に渋沢栄一が決まつているといから、多くの人は渋沢栄一に関する知識をお持ちだろうが、私の知識は明治時代の実業家といつ程度のものだつた。この本によると、現在のJRT・日経新聞・サッポロビール・みずほ銀行・帝国ホテル・聖路加病院等四百数十社の設立に関わつたといつ、驚愕すべき偉大な実業家であつた。

本の内容は別として、渋沢栄一について少し調べてみると意外にも社会福祉協議会と深いつながりがあることが分かつた。渋沢栄一は実業面だけでなく慈善事業にも多く関わつた人で、明治四十一年に設立された「中央慈善協会」の初代会長を務めている。この「中央慈善協会」こそが、変遷を辿りながら「全国社会福祉協議会」へと発展していくことになった。



近年、某自動車会社のトヨタに係るお金の使い方にについて話題になつていて、慈善事業にも少し目を向けていたら世間の見る目も少し変わつていたのではないかと思うのだが?

(下・上)